

# 平成30年度中学校社会科の指導の重点

## 【本県の課題】

- ・グラフ等の資料から、情報を読み取る技能を身に付ける必要がある。
- ・資料を関連させて、根拠を基に自分の言葉で表現する力を身に付ける必要がある。
- ・提示する資料の吟味が不十分であり教師の教材研究が必要である。

## 【指導の重点】

- ・複数の資料を結び付けて、事象間の因果関係や関連を考察する場面の設定
- ・意図(身に付けさせたい資質・能力)を明確にした言語活動の設定
- ・主体的な学びを引き出す学習問題(課題)の設定

## 【授業でこれから大切にしてほしいこと】

### 適切な課題を設けて行う学習の充実を図る

単元や題材など内容や時間のまとまりの中で、学習を見直し振り返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、児童生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるかを考え、実現を図っていくことが必要

学習過程例

活動例

指導のポイント

課題把握

課題追究

課題解決

動機付け(つかむ)

方向付け(見通す)

情報収集(調べる)

考察・構想

まとめ

振り返り

◎生徒の意欲を喚起し、主体的な学びを引き出す学習問題の設定

【自ら問いをもたせる工夫】  
社会的事象との出会わせ方(教材の提示の仕方)を工夫して、生徒の『矛盾』・『困惑』・『葛藤』・『疑問』・『発見』などを引き出して問いをもたせる。  
例:「～なのに、なぜ～」

◎資料から情報を読みとる技能を高める

◎特徴、違い、共通点など「資料を読み取る」際の視点を明確に示す

- 表題、年、出典、縦軸、横軸
- データの数値、変化、原因
- 2つのグラフの共通点、相違点
- 今後の動きなどを予想する 等

◎学んだことを生かして自分なりの考えを表現する場面の設定

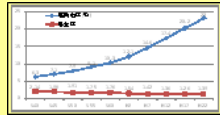
この場面では、自分がかつ知識に新しく得た知識を重ねて、自分の言葉で表現することを目指す(再構成する)

## 【具体的な指導例】①

収集した情報を社会的な見方・考え方に沿って読み取る技能を身に付ける

### ○事実を正確に読み取る

- ・形状、色、数、種類、大きさ、名称などに関する情報を読み取る
- ・方位、記号、高さ、区分などを読み取る(地図)
- ・年号や時期、前後関係などを読み取る(年表)



例:統計グラフ等の情報

### ○有用な情報を選んで読み取る

- ・学習上の課題の解決につながる情報を読み取る
- ・諸情報の中から、目的に応じた情報を選別して読み取る

### ○信頼できる情報について読み取る

### ○複数の情報を見比べたり結び付けたりして読み取る

- ・異なる情報を見比べ(時期や範囲の異なる地域の様子など)たり、結び付け(地形条件と土地利用の様子など)たりして読み取る
- ・同一の事象に関する異種の資料(グラフと文章など)の情報を見比べたり結び付けたりして読み取る
- ・同種の資料における異なる表現(複数の地図、複数のグラフ、複数の新聞など)を見比べたり結び付けたりして読み取る

## 【具体的な指導例】②

社会科における「まとめ」「振り返り」の例

### ○まとめ

- ・学習課題を振り返って結論をまとめる。
- ・結論について他の生徒と話し合う。
- ・学習課題についてレポートなどにまとめる。

### ○振り返り

- ・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る。
- ・学習成果を学校外の他者に伝える。
- ・新たな問い(課題)を見出したり、追究したりする。

## 【移行措置内容】

第1学年から第3学年までの社会「領域の範囲や変化とその特色」「富国強兵・殖産興業政策」「領土、国家主権」指導に当たっては、新中学校学習指導要領解説社会編及び現行の教科書の当該指導内容の記載が参考